

事務事業評価における総括

部 局 名	こども育成部	記入責任者	細見 明子
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>こども育成部の政策的事業は 39 事業あり、S 評価が 24 事業、A 評価が 11 事業、Z 評価が 3 事業、実績なしが 1 事業と概ね指標を達成しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>子育てに関わるニーズの把握に努め、環境整備を進めてきた結果として、多くの事業で指標を達成し、成果を上げることができました。</p> <p>なお、保育所等の待機児童については、待機児童解消対策に基づき保育所等の整備や保育士の確保対策に積極的に取り組んだ結果、令和 2 年 4 月 1 日時点で待機児童数が 0 人になりました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>「第 2 期茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保護者が安心して子育てができ、子どものより良い育ちを実現するため、暮らしの変化やライフステージに応じた子ども・子育て支援を継続的に進めていきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対する小児医療費の時限的な助成や、生活に影響を受けている低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金の支給を速やかに行うとともに、「子ども未来応援基金」を活用した事業を継続して実施することにより、子育て支援の充実を図ります。</p> <p>家庭児童相談事業については、さらなる児童虐待の早期発見と未然防止を目指し、「子ども家庭総合支援拠点」と保健所の「子育て世代包括支援センター」との連携のあり方を検討します。</p> <p>保育所等については、令和 3 年 4 月 1 日時点の待機児童は 1 人でした。未就学児童数は減少しておりますが、保育需要率の上昇が続いていることから、引き続き待機児童ゼロを目標に保育士確保策等に取り組みます。</p> <p>児童クラブについては、保育需要等を踏まえながら、「新たな児童クラブ待機児童解消対策」の検討・整理を行い、引き続き早期の待機児童解消を目指していきます。</p>			